

事務局報告

早いもので、昨年4月に本研究会事務局を引き継いでから2度目の学術大会となる第29回断層映像研究会が、平成12年11月17日(金)、18日(土)の両日に、高橋睦正大会長のもとで熊本市国際交流会館において開催された。今回は高橋会長の企画により、「Multidetector Helical CTのすべて」がメインテーマとして取り上げられ、最近目覚しく発展してきたこの領域に関して、理工学ならびに臨床応用の両面から研究発表と活発な討論が行われた。4名の海外からの特別口演もあり、断層映像研究会の名に相応しい実りある学術大会となった。この大会を主宰された高橋教授はじめ熊本大学医学部放射線医学教室の方々には厚くお礼申し上げます。

さて、断層映像研究会も編集委員長が町田喜久雄教授(埼玉医大総合医療センター)に替わってから新しい企画が取り入れられ、研究会雑誌も年4号発行となり、以前よりも活発になってきたことはご承知の通りです。本研究会のあり方については、これまでもいろいろ議論が出されましたが、日本医学放射線学会の傘下にあつて、放射線科医、診療放射線技師、機器メーカーの技術開発・整備担当者の三者が一堂に会して、断層映像に関する研究発表、討論の場を持つことは有意義であるとの認識のもとで、今日に至っております。

ところで、事務局としては以前から懸案となっていた会員名簿を、本年3月に発行しました。これは、本研究会が学術大会を定期的に開催し、機関紙を発行するなど、学術団体として一人前の事業活動を行っている以上、是非とも必要ではないかとのご指摘もあり、名簿台帳を整理して刊行したものです。不備な点があるかと存じますが、会員相互の連絡などに大いに活用していただければ幸いです。

断層映像研究会世話人会議事要旨

日 時：平成12年11月17日(金) 12:00~13:00
場 所：熊本市 国際交流会館 4階第1会議室
出 席：赤木史郎、荒川昭彦、伊藤勝陽、遠藤啓吾、大島統男、金子昌生、木村和衛、西条隆夫、宍戸文男、杉村和朗、高橋睦正、田中良明、土亀直俊、中條政敏、中村仁信、平木祥夫、福田国彦、藤井恭一、本田憲業、本保善一郎、松永尚文、町田喜久雄、宗近宏次、吉田祥二

議事：

1. 平成11年度の事業報告、決算報告、監査報告(福田国彦、藤井恭一両監事による監査済み)が行われ、別紙のように承認された。
2. 庶務報告として会員数、会員動態および会費納入状況が報告された。会員数は、平成12年10月31日現在431名(うち30名は特別会員)、会員動態は平成11年4月1日~平成12年3月31日で新規入会21名、退会54名である。会費納入状況については、平成2年度から12年度まで

の累積未納分が報告され、未納者については会費の請求を改めて行うこと、長期間の滞納者については退会措置を講ずることなどで対応することになった。

3. 平成13年度の事業計画、予算案について報告され、別紙のように承認された。

4. 平成12年11月16日(木)開催の編集委員会報告が、町田喜久雄委員長から行われた。要旨：(1)平成13年度も引き続き3月、6月、9月、12月の年間4号を発行する。3月号に次回の第30回学術大会の開催案内を掲載する。9月号は従来どおり抄録号を兼ねる。そのため9月号の原稿締め切りを平成13年8月10日として、9月20日頃までに会員に送付できるようにする。(2)Vol. 27, No. 4(平成12年12月30日発行)の編集も予定通り進んでおり、2000年度(Vol. 27, No. 1~4)の著者索引も掲載する。

5. 特別会員について審議が行われ、河野通雄氏、佐久間貞行氏が推薦され承認された。

6. 功労会員制度の制定について提案があり承認された。現在、規約によると、本研究会には会員と特別会員が定められているのみである。功労会員の資格としては、本研究会に永年(15年以上)会員として継続し、現役を退かれた方(65歳以上)とする。功労会員は会費を免除する。本項については研究会細則で取り扱う。

7. 次回の第30回学術大会は、平木祥夫教授(岡山大学医学部放射線医学教室)の大会長のもとで、平成13年10月5日(金)、6日(土)に岡山市、おかやま三光荘で開催される。

8. 次々期会長(平成14年)について、吉田祥二教授(高知医科大学放射線医学教室)が推薦され承認された。なお、次々々期(平成15年)の会長についても審議され、田中良明教授(日本大学医学部放射線医学教室)に内定した。

断層映像研究会総会議事要旨

日時：平成12年11月17日(金) 13:00~13:30
場所：熊本市 国際交流会館 7階メインホール
議事：高橋睦正大会長の議長のもとで議事が進められ、上記の世話人会報告が事務局担当の田中良明(日本大学)より行われ、いずれも原案どおり承認された。

新たな21世紀が始まろうとしています。世の中はIT革命と称して情報公開がよりいっそう進むことになり、好むと好まざるにかかわらず情報過多の時代になってきました。医学、医療の現場においては、画像診断の重要性がこれまで以上に増すでしょうし、そのような中にあつて断層映像の手法を用いた診断技術は、より一層利用されることが期待されます。そのような意味でも、本研究会の存在意義は大きいものと思われまふ。会員諸氏のますますのご活躍を期待するとともに、本研究会のさらなる発展を願っております。

(事務局：田中良明)

平成12年度断層映像研究会 世話人会・総会 資料

1号議案：平成11年度事業報告

第26巻3号 (H.11.12.31) 発行

1. 平成11年度 事業報告

第27巻1号 (H.12.3.31) 発行

1) 総会 1回 平成11年11月4日 (木) 京都市

6) 会員名簿発行 H.12年2月発行

2) 第28回断層映像研究会学術大会

平成11年11月4日 (木)、5日 (金)

2. 庶務報告

学術大会長 前田知穂 (京都府保健環境研究所)

1) 会員数 (平成12年10月31日現在)

3) 世話人会 1回 平成11年11月4日京都市

会 員：401名

4) 編集委員会 1回 平成11年11月3日京都市

特別会員：30名

5) 研究会雑誌の発行

2) 会員動態 (平成11年4月1日～平成12年3月31日)

第26巻1号 (H.11.6.30) 発行

新規会員：21名

第26巻2号 (H.11.9.30) 発行

退 会：54名

平成11年度収支決算報告書

(自平成11年4月1日 至平成12年3月31日)

1. 収入の部			2. 支出の部			
項 目	予 算 額	収 入 額	項 目	予 算 額	支 出 額	備 考
会 費	2,700,000	2,757,000	報 償 費	100,000	250,000	事務手当
利 子	2,000	3,012	賃 金	150,000	0	アルバイト料
前年度繰越	1,600,000	1,670,479	旅 費	750,000	120,000	委員会等
雑 収 入	0	64,800	需 要 費	200,000	103,076	印刷費、事務用品費等
			役 務 費	300,000	188,290	切手代、通信費等
			使用貸借料	100,000	0	コピー、会議室等
			負担金及び補助金	2,000,000	2,059,533	研究会1回 会誌4冊
			予備費	702,000	108,000	名簿刊行費等
			次年度繰越	0	1,666,392	
合 計	4,302,000	4,495,291		4,302,000	4,495,291	

次年度繰越内訳

郵便局振替口座	68,140円
郵便貯金総合通帳	790,933円
定期預金 (東京三菱銀行大山支店)	600,080円
普通預金 (東京三菱銀行大山支店)	207,239円

1,666,392円

2号議案：平成11年度収支決算報告ならびに監査結果報告

1. 収支決算報告（資料）
2. 藤井恭一、福田国彦監事より監査報告

3号議案：編集委員会報告

編集委員会 平成12年11月16日（木）熊本市

検討内容報告

1. 断層映像研究会雑誌の編集状況について
2. 断層映像研究会雑誌の今後の編集方針について
3. 次期（平成13年度）学術大会について
大会長：平木祥夫教授（岡山大学医学部放射線医学教室）
会 期：平成13年10月5日（金）、6日（土）
会 場：岡山市おかやま三光荘

1. 収入の部 明細

項 目	金 額	備 考
1. 会 費	33,000 2,724,000 小計 2,757,000	H.11. 4/1～6/11 受領分 H.11. 6/12～H.12. 3/31 受領分
2. 利 子	2,897 115 小計 3,012	H.11. 4/1～6/11 受領分 H.11. 6/12～H.12. 3/31 受領分
3. 前年度繰越金	小計 1,670,479	
4. 雑収入	100 9,700 5,000 50,000 小計 64,800	郵便口座開設時入金 雑誌代 旅費返金 釣銭返金
収入合計	4,495,291	

2. 支出の部 明細

項 目	金 額	備 考
1. 報償金	小計 250,000	事務手当
2. 賃 金	小計 0	
3. 旅費および会議費	30,000 50,000 40,000 小計 120,000	将来計画実行委員会会議費 編集委員会会議費 編集委員会旅費
4. 需要費	15,750 8,840 78,225 261 小計 103,076	製本代 事務局印代 封筒作成代 事務用品代（領収書）
5. 役務費	3,720 131,000 1,470 2,100 50,000 小計 188,290	振込料 切手、ハガキ代 宅急便送料 振込取扱票印字サービス料 学会当日受付用釣銭
6. 使用賃借料	小計 0	
7. 負担金及び補助金	200,000 1,559,533 300,000 小計 2,059,533	編集委員会補助 会誌発行費 第29回大会補助
8. 予備費	18,000 90,000 小計 108,000	年会費返却分 会員名簿刊行費
9. 次年度繰越	小計 1,666,392	
支出合計	4,495,291	

4. 次々期(平成14年度)の大会長推薦について

5) 研究会雑誌の発行 4回
(うち1回は大会抄録号を兼ねる)**4号議案：平成13年度事業計画および予算案**

2. 平成13年度 予算書(案)(資料)

1. 平成13年度 事業計画

- | | |
|----------|----|
| 1) 総会 | 1回 |
| 2) 学術発表会 | 1回 |
| 3) 世話人会 | 1回 |
| 4) 編集委員会 | 随時 |

5号議案：特別会員の推薦

6号議案：次々期大会長の推薦

7号議案：その他

平成13年度収支予算書(案)

1. 収入の部

項 目	予 算 案	備 考
1. 会費	2,400,000	6,000×400人
2. 利子	500	
3. 前年度より繰越金	700,000	
計	3,100,500	

2. 支出の部

項 目	予 算 案	備 考
1. 報償金	250,000	事務手当
2. 賃金	0	アルバイト料
3. 旅費及び会議費	180,000	委員会等
4. 需要費	50,000	印刷費、事務用品等
5. 役務費	100,000	切手代、通信費
6. 使用貸借料	50,000	コピー、会議室等
7. 負担金及び補助金	1,750,000	会誌発行 1,250,000 大会補助 300,000 編集委員会 200,000
8. 予備費	720,500	
計	3,100,500	